

### (3) 平成17年度取組みの評価

平成17年度は、高砂市次世代育成支援行動計画の初年度として計画を着実に展開することが出来ました。

#### 目標1 子育て家庭への支援

児童虐待の予防、防止を関係機関が協議するため、高砂市要保護児童対策協議会を発足させ、対応マニュアル・リーフレットの作成、配布を行った。児童虐待の防止講演会も開催することが出来ました。

#### 目標2 子育て支援のコミュニティ整備

子どもの見守りについて、各団体の協力のもと、安全パトロールや見守りを実施するなど地域全体で子育てネットワークの取り組みが進みました。

また、PTA や地域の団体が自主的なまちづくり活動として、小学校区ごとの安全マップを作成されました。

#### 目標3 就労と子育ての両立支援

市内民間園において病後児保育を開始しました。

開かれた保育園づくりの一環として公立保育園に苦情処理委員会を設置しました。

保育所の適正配置を図る観点から高砂保育園と高砂西保育園の統合を行いました。

#### 目標4 健全育成に向けた教育の充実

少子化問題の啓発チラシを作成し、学校などに配布しました。

#### 目標5 地域での生活環境の整備

県警の協力を得て、幼・保・小・学童など関係者による不審者侵入時の訓練を中筋小学校で実施しました。各校・園において不審者侵入時の訓練を実施しました。

また、防災放送設備を活用して、下校時の見守り放送が始まりました。

#### 目標6 安心して生み育てることができる環境の整備

健診未受診者など乳幼児の家庭に電話・面接・家庭訪問により保健師が活動しました。

以上、様々な面で新規事業が始まり、児童の健全育成、子育て負担の軽減が図られました。

なお、病後児保育事業、子育て家庭短期入所事業など利用者が少ない事業については、啓発の必要があります。